

職員紹介

Q1. 財務専門官の志望動機

Q2. 業務内容

Q3. 職場の印象・雰囲気



総務課
福井 逸平
Fukui Ippei

国と地域の架け橋として働ける点、多様な業務の中から自分の適性に合った分野の専門性を高められる点に惹かれて、財務専門官を志望しました。また、説明会等でお話した職員に爽やかな方が多く、「ここで働きたい!」と強く思うようになりました。

会議の準備、防災関連業務、財務局単位での各種とりまとめ等、幅広く、様々な業務を行っています。電話がよく鳴る総務課では、代表電話の取次ぎも大切な業務の1つです。総務課の業務は、他部署との関わりが多く、他の部・課と連携しながら仕事を進めています。

穏やかで優しい人が非常に多い職場だと思いました。皆さん真面目に業務をこなしていますが、上司はもちろん、他部署の方でも、困ったことがあると親身になって対応してくれます。執務室は、静かな時があれば、賑やかな時もありますが、とても居心地よく感じています。



経済調査課
北島 立樹
Kitajima Ritsuki

最初は「財務専門官」という名前の響きに惹かれ、調べ始めました。調べていくうちに、財政・金融・国有財産・経済調査など、地域経済に関連した業務や、他組織の方々と連携する業務に魅力を感じ、志望しました。

経済調査課では、各種指標や企業へのヒアリングなどをもとに北陸3県の経済動向を分析し、資料を作成、公表しています。ヒアリングは実際に企業へ伺うこともあれば、電話やwebで実施することもあります。

皆さん優しい方ばかりで、わからないことがあれば何でも教えていただけます。公表資料作成に向けた課内検討会は、自由に意見を言い合える雰囲気です。休憩時間中には、地元トークなどで盛り上がることもあります。



融資課
岡田 裕貴
Okada Yūki

財政・金融・国有財産管理など多様でかつ専門的な業務に従事することができる点に魅力を感じました。また、財務局では地域の様々な主体と密接に関わり、仕事をしているため、地域に貢献しているという実感をもって働けるのではないかと思います、志望しました。

主に地方公共団体に財政融資資金の貸付・管理及び回収を行っています。また、貸付先に対して実地監査も行っています。実地監査では、公営企業の経営状況を把握し、債務償還の確実性や財政融資資金の使用状況などについて確認を行っています。

上司の方々がよく話しかけてくださるため、とても居心地が良いと感じています。わからないことがあれば、親身に対応して下さり、安心して働くことができます。また、休暇やテレワーク、フレックスを取得しやすい環境が整っているため、プライベートの時間に充てることができます。



検査総括課
美濃 華七
Mino Hana

財政・金融など、地域に密着した業務を専門的に行うことができる「スペシャリスト」であることに憧れを抱き、志望しました。また、本省庁への出向などにより、幅広い業務を経験することができる点にも惹かれました。

金融機関への検査をサポートする業務をしています。具体的には、検査の事前準備、計画を練るための資料作成や、検査結果をとりまとめる等、デスクワークがほとんどです。また、北財PTというプロジェクトチームに参加し始めたことで、地域との関わりも増え、経験できる業務の幅もこれからもっと広がっていくのではないかとワクワクしています。

本当にアットホームな雰囲気です。私が仕事で困っていたら、質問する前に教えてくださるような、そんな温かい職場です。わからないことを質問して、嫌な顔をされたことがありません。これは、一年目の自分が働く上で、一番ありがたいことだと感じています。



Q4. 入る前の不安
→実際入ってみて

朝起きられるかが不安でした。最初は起きるのが辛かったですが、今では目覚ましがなくても起きられそうなくらいに慣れました。(今でも目覚ましは三重ですが)

財務局の業務は、財政・金融・経済など、難しそうな分野ばかりで、自分にできるのか不安でした。入局してからは、上司や先輩方がよく気にかけてくださり、安心して業務に取り組むことができます。原案作成は担当が行いますが、その後課内での検討をしっかりと行うので、自分一人で背負い込むこともありません。

朝起きられるかとても不安でした。入局後は早く起きる習慣が身につく、今のところ寝坊することなく出勤できています。

何もかもが不安でした。業務についての知識不足はもちろん、そもそも自分は社会人として週に5日も働けるのだろうかと不安しかなかったのですが、入局してすぐに様々な研修があったり、頼りになる先輩方のおかげで、少しずつ成長しています。週5で働くことについては、気合です！

Q5. プライベート面
での変化

生活にメリハリが出て、趣味や遊びの時間を大切にできるようになりました。想像もしていませんでしたが、北陸財務局に入り、生まれて初めて野球部員になりました。財務局野球部の先輩方には、練習から仕事まで、本当によくしていただいています。

早寝早起きをするようになりました。朝早く起きて、自宅近くの河原まで散歩に行くこともあります。また、金沢に住むのは初めてなので、休日はバスや自転車で探検しています。感染症が落ち着いている時期には、友人と遊びに行ったりリフレッシュしています。

学生時代は家にいることが好きでしたが、業務で様々な地方公共団体と関わる中で関心を持ち、休日に遊びに行くことも増えました。

宿舎で初めての一人暮らしをしています。掃除、洗濯などで、今までの母のありがたみをひしひしと感じながらも、自分の料理のレパートリーが増えてきて、とても楽しいです。また、年に何度か長期休暇もいただけるので、せっかくだからと旅行を計画することも増え、学生の時よりも旅行することが出来ている気がします。

Q6. 基礎研修の
感想など

学びが多く満足度の高い研修でした。コロナ禍で制限はありましたが、全国の同期と交流できた時間は、刺激が多く、非常に充実したものでした。特に、各財務局の代表で行われる都道府県PRのプレゼン大会では、発表のレベルの高さに驚かされました。

基礎研修では、業務上最低限必要な知識を学びます。感染症の影響で一定の制限はありましたが、全国の同期たちと顔を合わせての研修は非常に貴重な経験でした。研修で学んだ知識やビジネスマナーは現在の業務にも役立っています。

基礎研修では、全国の様々な財務局の同期と親睦を深めることができ、とても楽しかったです。研修では、様々な分野の講義を受講し、ビジネスマナー研修など社会人として必要なことについても勉強することができました。休日には、他局の研修生と野球観戦や焼き肉を食べに行ったことが印象に残っています。

一番印象的だったのは、中央研修で全国の同期と会えたことです。様々な出身の人たちが集まり、共同生活をしながら一緒に学ぶことは、とても新鮮であり、貴重な経験でした。自分が行ったことのない県の友達ができたことで、たくさんの面白い発見もありました。

Q7. 合格を目指す
受験生へ

これほど多くの職場を見れる機会はそうそう無いと思うので、ラッキーだと思って、色々な職場を見てみることをお勧めします。公務員試験は長期戦ですが、気持ちを切らさず頑張ってください！

公務員試験は民間企業に比べ時期が遅く、就職活動を終えた友人を見て焦ることもあるかもしれませんが、気にせず自分のペースでいきましょう。とはいえ、気になってしまうこともあると思います。そのような時は、早く就職活動を終えた友人にアドバイスをもらったり、たまには遊んで、焦りや不安を減らすようにしましょう。

ずっと部屋にこもって勉強していると気分が沈んでしまうこともあると思うので、たまには友人と遊びに行くなどして気分をリフレッシュすることが大切だと思います。また、完璧を求めすぎず、ある程度割り切って考えることも大切だと思います。

就職活動は、将来のことや自分自身について、深く考えるための良い機会だと思います。考えて悩んだ時間や、試験のために諦めずに努力した時間が長ければ長いほど、合格した時の達成感が大きいのはもちろん、就職後の職場に対する納得感も大きくなると思います。試験勉強中は孤独を感じることもあるかと思いますが、家族や友人にも相談しながら、心と体を大切に頑張ってください。



職員紹介

Q1. 財務専門官の志望動機

Q2. 業務内容

Q3. 職場の印象・雰囲気



統括金融証券検査官
原田 泰成
Harada Taisei

大学で金融論を専攻し、関連する業務に取り組みたいと考えていました。公務員試験について調べた際に財務専門官の存在を知り、調べれば調べるほど面白そうな仕事だなと思い志望しました。もちろん名前のカッコよさにも惹かれました。

金融機関の検査業務を主に行っています。検査では、コンプライアンス・ガバナンス・有価証券など複数の観点から検査を実施しています。マネロン・テロ資金供与対策をターゲットとした検査なども行います。出張が多く、庁舎にいる時間は少なめです。

検査業務には専門的な知識が必要不可欠であり、尚且つ厳密な正確性が問われることから、職員間での意見交換が活発です。その影響か、課内に質問しやすい雰囲気が醸成されており、新人の私としてはありがたい限りです。



金融監督第二課
森下 日菜
Morishita Hina

財政や金融の面から専門的に地域に貢献できる点に魅力を感じたからです。大学生のときに財務局の寄附講義を受けて、業務内容がおもしろそうだったことがきっかけでした。また、勤務地が北陸3県+東京で、地元で働く選択肢と財務省や金融庁に出向して働く選択肢があることにも惹かれ、志望しました。

金融機関を監督する業務をしています。金融機関から提出された報告書やアンケートなどを集計して金融庁に報告したり、届出の内容を確認して審査したりしています。

本当に優しい方が多いです。部署にとらわれず、様々な方が声をかけてくださいます。また、私が作業している金融監督部屋は、静かなときもあれば業務の相談や雑談でにぎやかなときもあり、集中しやすくもあり話しやすくもあるので働きやすいと感じています。



管財総括第一課
石塚 舞子
Ishizuka Maiko

国の立場から地域経済の基盤の安定化に貢献したいと考え、志望しました。また、幅広い分野での経験を積んだうえで、専門性を高めていくことができる点は、就職活動時に自分の専門としたい分野を絞り切れていなかった自分にとっては、魅力的だと感じました。

国有財産行政の総括事務に係る仕事をしています。主に、国有財産の増加及び減少について、記録・計算・整理・報告する仕事を担当しています。また、エリアマネジメント業務では、地域の国有財産の最適利用に向けた地方公共団体へのヒアリング等を行っています。

面接試験や入局前の説明会で職員の方々とお話した際に、優しく、温かい対応をしてくださる方ばかりだと感じていましたが、入局してからその印象は変わらないままです。周囲の方々がどんな些細なことに関しても質問に答えてくださるので、安心して働くことができ、ここで働くことができていると毎日感じています。



統括国有財産管理官
川口 颯太
Kawaguchi Souta

財政・金融・国有財産といった、地域の社会や経済に直接貢献できる業務を経験することができる点に惹かれ、志望しました。幅広い業務を行っているので、自身の成長につながると考えました。

普通財産の管理処分に係る業務を担当しています。主に、委託業者に対する、未利用国有地の管理指図や、期間入札での国有地の売却を行っています。また、エリアマネジメント業務では、地域との連携強化を目指して、地方公共団体にヒアリングなどを行っています。

皆さん細かいことでも優しく教えてくださり、非常に働きやすい職場だと感じています。私の所属する部署では複数の課で連携して業務を行うので、コミュニケーションがとりやすく、風通しが良い環境だと思います。



Q4. 入る前の不安
→実際入ってみて

入る前も今も不安なことはありません。もしあっても、なんでも相談・情報共有できる場があるためすぐに解決できるのではないかと思います。

入局前は仕事がこなせるか、上司とうまくコミュニケーションをとることができるかといったことがとても不安でしたが、実際に働いてみると、上司がとても気にかけてくださり、わからないことがあっても親身になって教えてくださるので、なんとか仕事をしています。

早起きできるのか、パソコン操作はうまくできるのか、業務を理解することはできるのか等不安は尽きませんでした。ですが、早起きに体も慣れ、周囲の方々があらゆることに関して丁寧に教えてくださることもあり、そのような不安はすぐなくなりました。

業務内容が専門的なので、ついていけるか不安でした。実際に専門的な業務も多く経験しましたが、上司が細部まで丁寧に教えてくださるので、無理なく業務を覚えていけます。

Q5. プライベート面
での変化

早寝早起きの習慣ができました。休日でも遅くても7時には起きて活動を開始するため、充実した一日を過ごすことができています。また宿舎が自然の豊かな公園の近くにあり、よく友人とそこでスポーツをしてカロリー消費に努めています。

ゆっくり過ごすようになりました。学生の頃は隙あらばアルバイトをいれていましたが、財務局で働き始めてからは土日祝が休日となったので、休日は友人と遊びに行くだけではなく読書や料理をするなど、自分の時間が増えたように感じます。

平日の早起きのおかげか、休日でも「動かなきゃ!」と思い、ダラダラすることが減りました。また、学生時代の友人と会うことが何倍も楽しみになり、もっと友人を大切にしようと思うようになりました。友人と会う予定があれば、それだけで仕事を頑張ることができます。

良い意味であまり変化はありません。残業や休日出勤等が少なく、年休も取得しやすいため、学生時代と同じように趣味や旅行などに時間を使うことができます。休日起きる時間も学生時代のままです。

Q6. 基礎研修の
感想など

社会人に必要なビジネスマナーや規則正しい生活リズムを身に着けることができました。多くの研修生にとっては、大学生気分を抜け出し国家公務員としての振る舞いを意識する良いきっかけになったのではないかと思います。

財務局の業務内容だけでなく、名刺の交換方法やクレーム対応などのビジネスマナーについても学びました。また、東京での研修だったので、東京にしかない、行きたかったカフェなどにも行けて、プライベート面でも充実していました。

東京での基礎研修では、他の財務局の同期と交流することができました。コロナ禍ということで制限もありましたが、集団生活を一緒に送る中で多くの同期の顔と名前を覚えることができました。もちろん、勉強面では財務局の幅広い仕事に関してたくさんの情報を得ることができ、とても有意義な研修でした。

北陸局だけでなく、他局の同期とも親交を深めることができ、とても充実した時間を過ごすことができました。楽しい毎日を過ごせた、とてもいい思い出が残っています。

Q7. 合格を目指す
受験生へ

採用枠が少なく、なかなか第一志望にしにくい財務専門官ですが、人生一度きりの新卒就活です。他の省庁、地方公共団体等を併願するのは当然として、第一志望としてぶつかってみませんか。その価値がある職場です。北陸財務局で待っています。

公務員とはいってもたくさんの種類があるので、積極的に説明会やインターンシップに参加してみることをおすすめしたいです。興味がなかった職種でも「あれ、意外とおもしろそうかも…!？」と思うかもしれません。

筆記試験の勉強と面接試験の対策は、慣れるまでかなり時間がかかった印象があります。焦らずに、心身の健康を第一にして取り組むのがよいと思います!勉強に身が入らないときもあると思いますが、それは受験生全員が経験することだと思いますので、勉強していない自分を責めずに、ゆっくりと休んでみてください!皆さんにとってより良い結果となることを祈っています!

試験は長丁場で苦しいと思いますが、頑張れば大体なんとかなります。勉強ばかりで疲れた時は、息抜きがてら色々な説明会・座談会に参加してみると、思いがけない発見があって後々役に立つこともあると思います。

